

令和7年1月16日会議概要

第1 日時

令和7年1月16日（木）午前9時20分から午前11時45分までの間

第2 出席者

在田委員長、池坊委員、森委員、森田委員、増田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、情報通信部長等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

委員から、「1月9日、風俗営業店に関する直接聴聞を行い、1件の対象店舗に対し営業停止処分を決定した。」旨、報告があった。

2 議題

(1) 令和6年の犯罪統計について（暫定値）

生活安全部長から、令和6年中の刑法犯認知件数について、令和3年まで減少傾向にあったものの令和4年以降増加に転じ、昨年は増減率+1.5パーセントの12,061件であった旨、報告があった。増加した主な犯罪は、令和5年7月に施行された性的姿態撮影等処罰法違反、詐欺、オートバイ盗のほか、不同意性交等や不同意わいせつ等の性犯罪であり、減少した主な犯罪は、暴行等の粗暴犯、侵入盗、自転車盗、車上ねらい等である。特に自転車盗については、増減率-3.6パーセントと全国的に高い減少率であり、これらは各警察署が防犯ボランティア等と連携して管内の被害実態に即した犯罪抑止活動を行った成果と考えている。一方、投資ロマンス詐欺等の詐欺、性犯罪が増加しており、本年も犯罪情勢の分析をしっかりと行い、分析結果に応じた対策に努める旨、説明があった。

刑事部長から、令和6年中の刑法犯の検挙状況について、検挙率は過去5年間で最も高いものとなった、引き続き犯罪の検挙に力を尽す旨、説明があった。

委員から、「府民の安心・安全のためにより一層のご尽力をお願いする。」旨、発言があった。

(2) 令和6年中における交通事故発生状況について

交通部長から、令和6年中の京都府内の交通事故発生状況について、発生件数、死者数、負傷者数いずれも昨年から減少している旨、報告があった。引き続き、死者数を減少させるため交通事故総量を抑止するほか、他県からの流入によるオートバイ等の車両単独事故が多いことから隣接府県と連携した検問の実施や白バイ投入等によるツーリング対策を講じる。また、昨年は、分析システムを活用し、各警察署や交通機動隊の活動を重複させず、必要な箇所に取り締りや監視活動を集中して実施した結果、薄暮時間帯の事故が大きく減少した。今後も発生場所、発生時間帯を勘案した上で、細かな対策を立てていきたい旨、説明があった。

委員から、「事故件数が減少している一方で死者数が変わらないというのは、速度の問題があり、車両単独事故につながっていると思う。今後も詳細な分析を進め、新しい取組を

行うことで、死者の減少に尽力して欲しい。」旨、発言があった。

(3) 集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例の許可状況について（12月申請分）

警備部長から、昨年12月中に申請が許可された「集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例」に基づく集会、デモの状況について報告があった。

(4) 秋篠宮皇嗣殿下のお成りに伴う警衛警備の実施について

警備部長から、本年1月20日、21日の両日にわたる第69回水族館技術者研究会御臨席等のための秋篠宮皇嗣殿下のお成りに伴い、身の安全確保と歓送迎者の雑踏等による事故防止を本旨として警衛警備を実施する旨、報告があった。

(5) 大阪・関西万博に向けた大規模サイバー攻撃事態対処訓練の実施結果について

サイバー対策本部長から、昨年12月19日、大阪・関西万博を見据え、近隣府県警察やインフラ事業者が参加した大規模サイバー攻撃事態対処訓練の実施結果について報告があった。本訓練は当府警察が主体となり、外国要人がイベントに出席中、京都市内でサイバー攻撃を原因とする大規模な停電が発生したとの想定に基づき、参加者が連携して事態対処に当たった。良好点として、各部門が連携について具体的にイメージできたほか、指揮本部の大型スクリーンを活用したことで現状把握や情報共有の確認ができ、さらに、ウェブ会議システムを活用して他府県警察やインフラ事業者とリアルタイムで情報共有ができた等好評であった。今後は実践を想定したブラインド方式の訓練を取り入れたい等、前向きな意見も多く寄せられ、万博終了後もその他のインフラ事業者等、幅広く参加を検討して、引き続き訓練を行っていききたい旨、説明があった。

委員から、「災害時と同様に電話やウェブが十分使えず、混乱することが予想されるため、そのようなことを想定した訓練もよろしく願います。」旨、発言があり、警察本部長から、「今回、サイバー攻撃事態対処訓練ということで、重要インフラ事業者を交え、京都府警としてこの種の訓練を実施できたことは大事な第一歩を踏み出すことができた。委員ご指摘のとおり、想定外のことが起こりうるんだという考え方の下、次回以降の訓練において、色々知恵を出しながら、シナリオを作って訓練を重ねていきたい。」旨、発言があった。

(6) 「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」第8回推進本部会議の開催について

京都市警察本部長から、本年1月31日、京都市役所分庁舎において、「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」第8回推進本部会議を開催する旨、報告があった。本会議については、これまで必要の都度開催していたところ、コロナ禍を経て約3年ぶりに開催することとなったもので、今回は、来年度強力に取り組むべき課題として、特殊詐欺被害防止対策と子供安全対策を議題に取り上げることとしており、市民生活に直結した治安上の課題について、今後も京都市と共通認識を持ち、緊密に連携しながら各種取組を推進していく旨、説明があった。

3 個別決裁

(1) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について（1件）

監察官室訟務官から、運転免許の停止処分を受けた者（1件1名）から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を決定した。

(2) 公安委員会宛苦情について（受理 1 件、処理 2 件、意見・要望 1 件）

公安委員会補佐室長から、過日受理した公安委員会宛の苦情申出 1 件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。公安委員会補佐室長補佐から、公安委員会宛の苦情等申出に関して受理 1 件、意見要望 1 件の報告があり、処理方針を決定するとともに、過日受理した公安委員会宛の苦情申出 1 件について調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

4 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、19件の行政処分を審議した。

5 個別報告

(1) 京都府情報公開・個人情報保護審議会への諮問について

総務課情報公開室担当補佐から、公文書非公開決定に対する審査請求について、京都府情報公開・個人情報保護審議会への諮問をする旨、説明があった。

(2) 令和 7 年度京都府留置施設視察委員の推薦団体について

留置管理課長から、令和 7 年度京都府留置施設視察委員の推薦団体について、説明があった。

(3) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。